

本校は沖縄県うるま市に位置し、近隣には天願川や安慶名グスクなどの自然や歴史的資源に恵まれた環境にあります。昭和51年（1976年）10月15日、沖縄県振興開発計画に基づき、前原高校・石川高校・宜野座高校に設置されていた商業科を統合して設立された独立の商業高校です。県内の商業高校としては比較的新しく、令和8年度には創立50周年を迎えます。

本校は「自立・創造・実践」を校訓とし、生徒は学習活動や部活動、学校行事、生徒会活動などに主体的に取り組んでいます。また、令和6年度に校是「原点回帰」を掲げ、商業教育の理念や学校設立時の思いを継承しながら、時代に応じた教育を展開しています。

現在は、リゾート観光科、オフィスビジネス科、ビジネスマルチメディア科、情報システム科の4学科 1学年5クラスを設置し、21世紀に活躍できる人材の育成を目指しています。

本校の特色ある取り組みとして「具商デパート」があり、長年にわたり実践的な商業教育の場として継続されてきました。この活動は高く評価され、令和6年度に「文部科学大臣表彰」を受賞しています。また、「ダンスフェスティバル」も大きな学校行事の一つであり、生徒たちの主体的な活動によって年々盛り上がりを見せています。

令和7年度の進路状況については、進学は98.1%合格、就職は100%内定、進路決定率98.3%と高い実績を上げています。特に大学進学では国公立大学への合格者もおり、商業教育で培った知識や技能を生かして、経済・経営・情報分野などへ進学する生徒が多いことが特徴です。

部活動も活発で、スポーツ系・文化系・商業系を含め28の団体が活動しています。野球部は、令和3年3月の選抜高等学校野球大会に「21世紀枠」で出場し、女子バレーボール部は、令和7年度冬季大会で準優勝するなど、優れた実績を収めています。

さらに本校では新たな教育改革として、朝のSHRを廃止し、「WB日課850（8時50分開始）」を導入しました。これにより授業開始時間が早まり、放課後の活動時間を確保するとともに、連絡事項は一人一台の端末を活用して行うなど、ICTを活用した学習環境の充実を図っています。

創立50周年を迎えるにあたり、本校はこれまでの伝統を継承しつつ地域との連携を深め、実践的な商業・ビジネス教育をさらに推進していきます。そして、生徒一人ひとりの進路実現を支援し、地域社会から信頼される学校として発展し続けていきます。

今後とも、本校の教育活動に対してご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

沖縄県立具志川商業高等学校
校長 新垣 安之